

説教ワンポイント

あなたは戻ってきたのです

第二ペトロ三・一八―二五

聖書は私たちをよく羊にたとえます。専門家に教えてもらったとき、とても自分に似ている動物だなと思いました。

というのもまず、羊はとてもろま、なのです。芸をする犬やサルはいますが、羊の芸は見たことがない。そのはず、羊はまったく芸を覚えられず、教えてもすぐ忘れる。(ほんとうに私みたい)。道順も覚えられないから、あの有名な迷い出た羊の出来事も起こるのです。次に、羊は分厚い毛皮を着こんで荒れ野を歩き続けるので、せつかくの羊毛が土や砂ぼりを巻き込み汚れてしまう。猫なら自分で洗い、犬もお風呂が大好きですが、羊は汚れても知らん顔。いつも神様に背き、罪が積み重なっても気づかぬ私の人生にこれも似ている。三番目に羊はもつとも無防備な動物。犬なら吠

え、猫ならひっかき、狐も咬みつくが、羊はそれら攻撃手段を何一つ持たない。野獣に襲われたらひとたまりもない。そのような羊だから、今日の聖書はいうのです。

「あなたは羊のようにさまよっていました」(三・二五)。でも、大丈夫。それでもたつた一つ、羊は自分を守るすべをもっています。それは羊飼いの声を聴き分ける力(ヨハネ一〇・四)。この声さえ間違えなければ大丈夫。自分を守るため命まで投げ出してくれる羊飼いがついている。イエスさまもそのように、私たちのために命を捨てられました。そして、羊飼いが年に一度、汚れて膨れた羊の毛をきれいに刈り、洗い、毛皮も体も真っ白にしてくれるように、私たちもイエスさまがぜんぶ洗い流し、真っ白にしてくださいました。このイエスさまに気づいた

「あなたがたは今、魂の牧者であり、監督者である方のところへ戻ってきたのです」(二五節)。